

創立60周年・認承50周年 記念式典開催

11月27日(土) 南長野運動公園 長野Uスタジアム 担当 ■ 周年実行委員会 ■

50周年宣言

次代へ【挑戦】し 人と地域と時代を
 【繋ぐ】架け橋となる

- 1 人びとがこのまちで幸せに住み続けられるよう 挑戦する団体であり続けます
- 1 青少年の夢を地域一体となり育み このまちから発信できる地域づくりに取り組みます
- 1 すべての事象に縛られる事なく 柔軟かつ多角的な視点を取り入れ 世界平和に貢献します
- 1 時代の流れを読むことで創造に挑み 変革を導く組織を目指します
- 1 持続可能な地域づくりの為 人材への成長と人材の育成を目指します

(2021年11月27日)

本年(公社)南長野青年会議所は創立六〇周年・認承五〇周年を迎えました。当会議所が六〇年の長きに渡りこの南長野の地で活動してこられたのは、ひとえに礎を築いてくださった先輩諸兄姉、また日頃よりご理解ご協力を頂いておられます関係諸団体の皆様、そして我々の事業に賛同頂き、ご参加頂いているこのまちの皆様に他なりません。



皆様へ感謝をお伝えする場として、また四〇周年宣言から一〇年、現在まで我々が取り組んでいる運動や活動を皆様にお伝えすると共に、宣言文(五〇周年宣言)という形でこれからの一〇年をどのように活動していくのかを発表する場として本事業を開催致しました。

当初は八月の予定でしたが延期を余儀なくされ十一月の開催となりました。当日は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて関係者のみの開催となりました。また寒い中ご参加いただきました関係者の皆様、大変有難う御座いました。

今後、記念誌の方をDVD+デジタル配信という形でお配りさせて頂きます。また本来であれば周年イヤーに記念事業として多くの皆様に御来場の上開催させて頂きたかったのですが、事業そのものが中止となってしまいました。しかしながらこれまでご協力頂いた皆様や楽しみにして頂いていた市民の皆様に少しでも恩返しさせて頂きたく、動画配信という形でSDGsを学んで頂けるようホームページのYOUTUBEチャンネルにて記念動画配信を期間限定で行って参ります。

当社はこれまで歴史を紡いでこれら先輩諸兄姉、日頃より多大なるご支援ご協力賜りました関係各位、地域の皆様へ感謝の気持ちを伝えるとともに今後一〇年間の活動指針として『五〇周年宣言』を掲げさせて頂きました。これから我々がこの南長野地域の為に何ができるのか、何をすべきかを考え、青年会議所活動に邁進していく所存ですので、皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に(公社)南長野青年会議所が六〇年もの間この地域で活動してこられたこと、そしてその歴史の一部にこのような形で携われたことに改めて感謝し、周年実行委員長所感とさせて頂きます。本場にありがとうございました。



本年度、公益社団法人南長野青年会議所は創立六〇周年・認承五〇周年の節目の年を迎えることができました。それを記念致しまして、十一月二十七日(土)に南長野運動公園総合球技場(長野Uスタジアム)にて記念式典を開催させて頂きました。当初八月開催の予定でご案内させて頂きましたが、昨年同様新型コロナウイルスの感染拡大に伴う延期により、十一月下旬という大変寒空の中での開催となりました。そのような状況でも多くの皆様にご臨席賜りましたことに改めて御礼申し上げます。また、日程変更によりご参加いただけなかった皆様には大変申し訳なく感じております。

式典ではこれまで歴史を紡いでこれら先輩諸兄姉、日頃より多大なるご支援ご協力賜りました関係各位、地域の皆様へ感謝の気持ちを伝えるとともに今後一〇年間の活動指針として『五〇周年宣言』を掲げさせて頂きました。これから我々がこの南長野地域の為に何ができるのか、何をすべきかを考え、青年会議所活動に邁進していく所存ですので、皆様の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に(公社)南長野青年会議所が六〇年もの間この地域で活動してこられたこと、そしてその歴史の一部にこのような形で携われたことに改めて感謝し、周年実行委員長所感とさせて頂きます。本場にありがとうございました。

本年度、公益社団法人南長野青年会議所は創立六〇周年・認承五〇周年の節目の年を迎えることができました。それを記念致しまして、十一月二十七日(土)に南長野運動公園総合球技場(長野Uスタジアム)にて記念式典を開催させて頂きました。当初八月開催の予定でご案内させて頂きましたが、昨年同様新型コロナウイルスの感染拡大に伴う延期により、十一月下旬という大変寒空の中での開催となりました。そのような状況でも多くの皆様にご臨席賜りましたことに改めて御礼申し上げます。また、日程変更によりご参加いただけなかった皆様には大変申し訳なく感じております。

委員長所感

中村 文陽

公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区 長野ブロック協議会 第五二回長野ブロック大会

9月12日(日) 松代文化ホール・宮坂酒造店跡地

企画担当 ■ ブロック大会実行委員会 ■

委員長所感

宮尾 祐介

本年南長野の地にて長野ブロック大会が開催されました。長野ブロック大会は県内17LOMのメンバーが共通の目的に一緒に活動することにより、LOM活動だけではなく得られない学びや人脈を得られる貴重な機会でした。松代文化ホール内では長野ブロック協議会による式典と二つのフォーラムが開催されました。一つ目は『今こそサスティナブルツーリズムを信州に！』という題目で長野県のインバウンドリピーター率への課題を理解したうえで、株式会社やまごころ 代表取締役 村山慶輔様に講演を頂きました。観光のみならず、様々な業種の今後につながるお話しをしていただきました！二つ目は『SNSで信州の魅力を発信せよ！』という題目で長野県内各地の青年会議所のメンバーにSNSを活用して効果的に情報を発信できるた

めのスキルを学びました。当初予定していた『たから市・スタンプリー』は新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止となりました。南長野青年会議所では宮坂酒造店跡地をお借りして善光寺ぶどうで作ったお酒(ワイン)のブース出展や松代の魅力発信パンフレットや松代まち歩きスタンプラリー台紙や信州うまいものマップの配布などを行いました。

九月二二日(日)に松代地区において「公益社団法人日本青年会議所 北陸信越地区 長野ブロック協議会 第五二回長野ブロック大会」を主管青年会議所として開催いたしました。

本年のブロック大会は、二年ぶりに現地開催が決まり、南長野青年会議所としても、ブロック大会の運営に加え、南長野地域をアピールするべく準備をしてまいりました。残念ながら、新型コロナウイルス第五波の影響もあり、たから市の中止や、記念事業の中止等、大幅な事業内容変更を余儀なくされました。しかし、松代文化ホールで開催された式典やフォーラムの運営補助、又南長野地域のワインの販売等を行い、コロナ禍においても出来ることを模索し、準備をして当日を迎える事が出来ました。

十数年に一回しかない長野ブロック大会の主管青年会議所として活動にすにあたり、メンバー全員、又、組織として貴重な経験を得ることが出来たと感じています。この経験を今後の青年会議所運動に活かしていく事をお誓い申し上げます。委員長所感とさせていただきます。



10月例会

10月30日(土)

篠ノ井駅前商店街通り
アスベスしののい中央パーキング

しののいハロウィンフェス!

企画担当 ■ 未来への力創生委員会 ■

昨年より発生した新型コロナウイルス感染症の影響を受け、祭事などもことごとく中止となり、我々の住まうこの南長野地域も例年には無い静けさとなりました。しかしワクワクチンが普及し始め収束の光が見えてきた今こそ、「地域と人」が一体となり、地域活性化が出来る事業が必要であると考えました。地域が盛り上がる為には商店街の力が欠かせません。そこで篠ノ井の商店街に協力してもらい、今までに無かった新しいコンテンツに触れてもらう事で、人と人の繋がりを、この地域の魅力の再認識、そして愛着を持つきっかけになると考え、本事業を実施しました。

第一部では『おぼけのかぼちゃを探し出せ!』を行いました。篠ノ井商店街のご協力のもと商店街のあちこちのこの一五カ所におぼけのかぼちゃの置物を隠しました。参加者にはハロウィンの仮装してもらいスマホで写真



真を撮り見つけた数だけお菓子すくいに挑戦して頂きました。第二部では『しののい仮装コンテスト』を行いました。審査委員に篠ノ井地区住民自治会 山本会長 審査員に篠ノ井地区住民自治協議会 星野部会長 長野商工会議所 篠ノ井支部 宮下支部長 長野パルセイロ アスレチッククラブ 大橋様にご協力を頂き厳正な審査の上、グランプリ・準グランプリ・審査員特別賞を決めさせて頂きました。

副委員長所感

渡邊 行伸

本年度初めての社会開発事業として、一〇月三〇日(土)に一〇月例会「しののいハロウィンフェス」を開催致しました。本事業は「ひとと地域」が一体となり、人と人の繋がりを、まちの魅力の再認識や愛着を持つきっかけになると考え開催致しました。

一〇〇名に絞った参加申し込みは開始から二日で定員に達し、地域の方々からの期待度の高さを感じる例会となりました。

二部構成で行われた本事業ですが、第一部では仮装をした参加者が篠ノ井駅前商店街に隠されたおぼけのかぼちゃの置物を探し、見つけた数だけお菓子を貰うという内容です。参加した子ども達は必死になって篠ノ井の街を探索し、獲得した袋一杯のお菓子を嬉しそうに友達に自慢している姿などを見ることが出来ました。

また第二部は「しののい仮装コンテスト」と題しまして参加者8グループによる個性豊かな仮装コンテストを行いました。大人から子供まで様々な仮装を発表してもらい、大いに会場を盛り上げることが出来ました。

参加した方々からは「久しぶりに篠ノ井を歩くことで、新しいお店を沢山発見出来たのでまた来たい」等の感想を数多く頂く事ができ非常に嬉しく感じました。

最後になりますが、コロナ禍で様々なイベントが制限され、青年会議所としても社会開発事業は例年以上に工夫を求められる中ですが、皆で良く考え、しっかりと対策をし、大きなトラブルもなく無事終える事が出来たのは、ひとえに協力してくれたメンバー皆様のおかげです。参加して頂いた関係諸団体の皆様、そしてメンバーに感謝を申し上げます。委員長所感とさせていただきます。

11月例会

異業種交流会

補助金を学び地域を活性化させよう

企画担当 ■ 周年実行委員会 ■

11月20日(土) 長野商工会議所 篠ノ井支所 二階 大会議室

新型コロナウイルス感染症の影響により中小企業の事業縮小が懸念される中、県や国から多種多様な支援策が募集されています。地域発展の為に、地元企業の経営においてどのような支援策があるのか知る機会が必要だと考え、講師に事業承継や経営計画が専門で長野JICのOBでもある小林大登様をお招きし補助金について講演して頂きました。また当会議所メンバーと一般参加者がグループディスカッション形式で企業同士の繋がりを深めると共に共通の課題について考え、地域や企業の活性化について話し合いました。



副委員長所感

飯田 一基

当初開催予定であった九月例会でしたが、夏季の新型コロナウイルス感染症の拡大により延期となり、十一月例会として開催させていただきました。開催までの準備期間が非常に短かった上、周年事業との同時進行によりメンバーの皆様には非常にご苦勞おかけいたしました。

本事業では南長野地域で事業を展開している皆様を対象に補助金の講習会、さらには地域を見つめ直す機会として開催いたしました。補助金の活用をする上で、俯瞰した視点から会社を見つめなおすことで色々な課題が見えてきます。会社の強みを見つける事は自己の働き方や仕事に対する念い等、より良い発展へ繋がる事だと思えます。それは南長野地域全体の未来へ行く行くは繋がって行くことでしょう。

久保理事長の掲げるスローガンの下、我々メンバー以外の参加者の方に地域の未来を担う活動を知ってもらえたと思います。今回の事業を通じ、志しを共にできる同志が増えることを期待しつつ今後も拡大事業に丸となって取り組んでいきたいと思えます。参加して頂いた一般参加者とメンバーの方に感謝申し上げますと共に今後の益々のご発展、ご健勝を祈願いたします。

12月例会

12月9日(木)

J-Aグリーン長野グリーンパレス 割烹料理丸十

第60期生卒業式

企画担当 ■ 未来への力創生委員会 ■

本年は第60期生卒業式ということで、中村文陽君、酒井総一郎君、久保廣範君、海江田勝由君、渡辺利寛君、そして志半ばで逝去されてしまいました、片山登志彦君の六名が卒業されました。

第一部ではJ-Aグリーン長野・グリーンパレスにて卒業生セレモニー、活動記録及びビデオメッセージの上映と卒業証書授与及び記念品贈呈が行われました。その後会場を割烹丸十へ移し、盛大なお祝いを致しました。最後には花束贈呈と卒業生のスピーチで別れを惜しみつつ60期生卒業式を締めくくりました。



第60期生メンバーご卒業おめでとうございます。

委員長所感 藤岡 秀一

二月九日(木)、J-Aグリーン長野・グリーンパレスにて、第三回通常総会の後、二月例会「第60期卒業式」を開催しました。卒業生は、久保廣範理事長をはじめ、中村文陽君、酒井総一郎君、海江田勝由君、渡辺利寛君、そして、物故会員の片山登志彦君が卒業されました。式では、卒業生の写真を使った映像が流れ、卒業証書授与が行われました。最初から泣かれています卒業生もいて感動的でした。

第二部では、割烹丸十にて、昨年は出来なかった会食をしながら行いました。罰ゲーム付き南長野JICクイズ、先輩方からのメッセージの上映などをほさみ、花束贈呈では、卒業生一人一人が関係の深い後輩から花束を受け取り、今までのJIC活動への熱い思いを語りました。時間の足りないくらい熱弁でした。

今回、卒業生は、歴の長い南長野JICの核であった方ばかりです。不安は大きいですが、誇るべき卒業生の皆さんや、先輩諸兄姉のように活躍できるような、襟を正して残りのJIC活動を送ってまいります。

